

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

<研究課題名>

児童における靴底と歩容との関連性の検討

<研究期間>

実施承認日～2021年3月31日

<研究の目的・意義>

児童における靴底と歩容との関係性を示すことで、靴の観察から、親や教師が正常歩行の逸脱を早期発見できる可能性があると考えます。また、理学療法の視点からはインソールや靴へのアプローチによって歩行改善につながる可能性が考えられます。しかしながら、先行研究は成人を対象とした研究が多く、児童を対象とした研究は少ないのが現状です。以上より、本研究の目的を児童における靴底と歩容との関連性を検討することとさせていただきます。

<研究方法>

共同研究で得られたデータのうち、2018年、2019年に収集された健診データを二次利用します。具体的には靴底の摩耗部位と下肢のキネマティクスの項目を参照させていただきます。研究のために検査を追加するなど、患者さんの負担となるようなことは行いません。集められた情報を解析し、靴底の摩耗部位と下肢のキネマティクスの評価に関係するかどうか、検討させていただきます。

<予測される利益・不利益について>

この研究に参加いただいた場合、患者さんに直接生じる利益はございません。また、過去の記録をもとに検討いたしますので、今回参加いただいた患者さんへの新たな負担や副作用などの不利益はありません。

<本研究の実施について>

この研究は名古屋大学生命倫理審査委員会の承認を受けたくて行われます。

もしも対象者の皆様がこの研究へのご自身の情報の利用を望まれない場合には、この研究には使用いたしませんので、下記連絡先までご連絡・ご相談ください。

しかしながら解析終了後または学会・論文での発表後には、データを削除できないことがありますのでご了承ください。

連絡先：

名古屋大学医学部保健学科理学療法学専攻

研究責任者 教授 杉浦英志

住所 名古屋市東区大幸南1-1-20

電話 052-719-1364

FAX 052-719-1506

苦情の受付先：

名古屋大学医学部保健学科 総務係

電話 052-719-1504

<個人情報の保護について>

研究に用いる情報は全て匿名化して誰の情報かわからないような形にしてから解析を行います。したがって対象者の皆様の個人情報が他に漏れる心配はありません。

<費用について>

この研究に関して、患者さんへ追加でご負担いただく費用はありません。また謝礼もございません。